

元気な

ひと

なかま



FC 鈴鹿ランポーレ

◎鈴鹿からJリーグをめざす!

FC鈴鹿ランポーレは、2009年に誕生した、鈴鹿市をホームタウンとする市民サッカークラブです。現在は東海社会人リーグ1部で戦っており、全国リーグのJFLへの昇格が目標です。合言葉は「鈴鹿からJリーグへ」です。

登録選手は28人。ホームグラウンドは、県営スポーツガーデン・サッカー場です。平日は午前中に練習を行い、土・日曜日は練習試合や公式戦に臨んでいます。

◎生のプレーを見てください

高木成太監督からは鈴鹿のファンへ、「ランポーレの持ち味は攻撃的スタイルです。ぜひ公式戦を見に来てください」と、力強いメッセージをいただきました。

4月8日、15日、22日の毎週日曜日には、県営スポーツガーデンで「平成24年度三重県社会人サッカー選手権大会」が開催されます。FC鈴鹿ランポーレの試合を、じかに見る絶好のチャンスです。

昨年の天皇杯での名古屋グランパスとの熱戦は、記憶に新しいところです。皆さんの声援で、ランポーレをJリーグへ、応援よろしくをお願いします。



闘え! モータースポーツの鈴鹿人

すずかひと

鈴鹿サーキット実況アナウンサーの辻野ヒロシです。今月から鈴鹿市内のモータースポーツ選手やチームをご紹介します。1回目は、鈴鹿高校3年生でオートバイの世界選手権Moto3クラスに出場する藤井謙汰選手のご紹介です。

藤井選手はわずか5年で世界への切符を手にした鈴鹿市生まれの逸材です。レース出場には運転免許が必要ありません。そのため、小学校低学年からレースを始める人が多いのです。しかし、藤井選手は中学校入学の直前からと、かなり遅咲きのスタートでした。

そこから全日本王者になり、世界選手権に参戦というのは異例のスピード昇格! 経験の少なさを日々の練習と努力で補ってきた17歳の少年が今年、海外のツフモノたちと対決します。藤井選手のレースは4月に開幕、世界各国で17戦を戦います。ぜひ応援してください!



藤井選手とテクノマグCIPチームオーナーのアラン・ブローネック氏

■語り手 辻野 ヒロシ

鈴鹿サーキット実況アナウンサー・鈴鹿モータースポーツ友の会副理事長

広報すずか 2012年4月5日号

キーボード

広報の編集をしていると、言葉の使い方に気を付けるようになります。たとえば先日のこと。今年は、鈴鹿に関連する幾つもの何周年が重なります。商工会議所65周年、鈴鹿サーキット50周年、伊勢鉄道25周年、そして市制施行70周年。

この賑わいを表現するのに、「盆と正月が一緒に来たような」と当初は書こうと思ったのですが、よく考えてみると、正月はめでたいけれど、お盆は意味合

いが少し違いますね。

調べてみたら、「盆と正月が一緒に来たような」は、うれしいことが重なることの意味でも現在使われているが、本来は、用事が幾つも重なり非常に忙しいという意味だと分かりました。

これだけの何周年が重なるのは、偶然とは思えません。市内でさまざまな記念イベントが企画されています。今年の鈴鹿は面白くなりますよ。(保)



鈴鹿市携帯サイト「元気モバイル」

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) ↑ <http://www.city.suzuka.lg.jp/>
■編集/企画財務部秘書広報課 ☎059-382-9036 ☎059-382-9040 ✉ hishokoho@city.suzuka.lg.jp
■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 第2八野ワークセンター印刷係 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810



古紙配合率100%再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。